

日本コーチング学会・日本体育学会体育方法専門領域 平成25年度総会議事録

日 時：平成25年8月29日(木) 12:00~12:50

場 所：立命館大学 (B) コラーニングハウス I C402

1. 開会宣言 (三輪佳見氏)

2. 挨拶 (朝岡正雄会長)

3. 議長団・議事録署名人の選出

議事に先立ち、議長団として大嶽真人氏(日本大学)が推薦され、承認された。また、議事録署名人として、大庭昌昭氏(新潟大学)、安井年文氏(青山学院大学)が推薦され承認された後、以下の審議がなされた。

4. 報告事項

(1) 編集委員会報告

青木和浩編集副委員長より、コーチング学研究第27巻1号の編集進捗状況について、原著論文8編、研究資料1編、実践報告2編が掲載予定である旨、報告された。

(2) 学会大会委員会報告

長谷川聖修庶務副委員長より、第25回学会大会(筑波大学)の準備進捗状況について報告があった。

(3) 第1回アジア-太平洋コーチング学会について

渡部和彦企画委員より、平成26年7月11日(金)~13日(日)の期間に北海道大学で開催される第1回アジア-太平洋コーチング学会について案内があり、本領域会員からも積極的に参加して欲しい旨、要望された。

5. 審議事項

(1) 平成24年度日本コーチング学会・日本体育学会体育方法専門領域総会議事録確認の件

青山清英理事長より前回議事録について提案がなされ、原案通り承認された。

(2) コーチング学研究投稿規定の改訂の件

青木和浩編集副委員長より、投稿規定の改訂について、これまでの編集委員会および理事会における審議経過の説明および提案がなされ、原案通り承認された。

(3) インターネット論文検索システムへの対応について

青木和浩編集副委員長より、コーチング学をCiNiiおよびJSTAGEで論文検索できるようにするための手続きを取ることにについて説明および提案がなされ、原案通り承認された。

6. 閉会宣言 (三輪佳見氏)

日本コーチング学会・日本体育学会体育方法専門領域 平成25年度総会議事録

日 時：平成26年3月16日(月) 9:00~9:30

場 所：筑波大学 学群棟5C216

1. 開会宣言 (青山清英理事長)

2. 挨拶 (朝岡正雄会長)

3. 議事録署名人選出

議事に先立ち、議事録署名人として梅林薫氏 (大阪体育大学)、大嶽真人氏 (日本大学) が推挙され承認された後、以下の審議がなされた。

4. 報告事項

(1) 編集委員会報告

岡子浩二編集委員長より、コーチング学研究第27巻2号の編集進捗状況について、特集3編、原著論文4編、研究資料1編、短報2編が掲載予定である旨、報告された。

(2) 研究助成公募および選考結果について

野口智博庶務委員長より、研究助成の公募と採択審議の結果5件を採択したことが報告された。

(3) 年会費の変更について

野口庶務委員長より、これまでの会計報告の推移や会員数を勘案しながら、8月の理事会までの間に、4千円から5千円への増額を検討していることが報告された。

(4) 日本体育学会の各委員の委嘱について

野口庶務委員長より、日本体育学会代議員選挙管理委員として野口庶務委員が、学会賞推薦委員として高岡理事が、政策諮問・検討委員として葛西順一副会長、青山理事長が推挙されたことが報告された。

(5) 第1回アジア・太平洋コーチング学会について

渡部和彦理事より、平成26年7月11日(金)~13日(日)の期間に北海道大学で開催される第1回アジア・太平洋コーチング学会について案内があり、本領域会員からも積極的に参加して欲しい旨、要望された。

5. 審議事項

(1) 平成24年度日本コーチング学会・日本体育学会体育方法専門領域総会議事録確認の件

青山清英理事長より前回議事録について提案がなされ、原案通り承認された。

(2) 平成25年度事業報告および決算案について

野口庶務委員長より、平成25年度活動報告および決算案について説明および提案がなされ、原案通り承認された。

(3) 平成26年度活動計画および予算案について

野口庶務委員長より、平成26年度活動計画および予算案について説明および提案がなされ、原案通り承認された。また、次回学会大会は、大阪体育大学にて平成27年3月15、16日に開催される予定であることが報告され、主催を代表して梅林薫理事より挨拶があった。

6. 閉会宣言 (青山清英理事長)

平成25年度 日本コーチング学会・日本体育学会体育方法専門領域 第2回理事会議事録

日 時：平成25年8月28日(水) 12:00~13:00

場 所：立命館大学くさつびわこキャンパス (C) コラーニングハウスⅡ C602

出席者：朝岡正雄（会長）、有吉正博（副会長）、青山清英（理事長）、曾田 宏、青木和浩、伊藤雅充、
梅林 薫、内山治樹、遠藤俊郎、佐藤 徹、高岡 治、寺山由美、野口智博、野村照夫、長谷川聖修、
丸山克俊、村木征人、渡部和彦、近藤克之（編集・幹事）、鈴木淳也（庶務・幹事）
本道慎吾（庶務・幹事）（21名）
委任状提出者9名

1 開会宣言

朝岡正雄会長より、コーチング学会と体育方法との組織統合に伴い、体育学会大会期間中に開催の総会を臨時総会にするなど、早急に検討しなければならない事案が山積しているため、今後も積極的な意見交換をしてほしい旨の挨拶があった。

2 議事録署名人として、内山治樹理事と寺山由美理事が選出された。

3 報告事項

- 1) 野口智博庶務委員長より、第24回学会大会決算について、監査が終了した旨、報告があった。
- 2) 青木和浩編集副委員長より、コーチング学研究第27巻1号の編集進捗状況について、現在11編が掲載可で、内訳は原著論文8編、研究資料1編、実践報告2編であるとの報告があった。また、旧編集委員会による審査論文が4編あり、うち2本は受理済みで、新編集委員による審査中の論文も5本とのことであった。
また、会報の取り扱いについては、旧専門領域理事会で取り扱っていた短報等をどのようにするかなどを、現在編集委員会内で審議中であることが併せて報告された。
- 3) 長谷川聖修庶務副委員長より、第25回学会大会（筑波大学）の準備進捗状況が報告された。テーマは、「コーチングの未来へ（仮）」とし、期日は平成26年3月16日（日）、17日（月）の両日で、海外講師招聘の件については今後検討するとのことであった。

4 審議事項

- 1) 青山清英理事長より、前回議事録について提案がなされ、原案通り承認された。
- 2) 青木和浩編集副委員長より、「コーチング学研究」の投稿規定および投稿手引きの改訂について、これまでの編集委員会および理事会における審議過程の説明および提案がなされ、投稿規定については原案通り承認された。投稿手引きについては一部の文言について再検討を行い、メール会議にて再度審議することとなった。
- 3) 青木和浩編集副委員長より、「コーチング学研究」をCiNiiやJSTAGEで論文検索ができるようにするための手続きを取ることに説明および提案がなされ、原案通り承認された。
- 4) 渡部和彦企画委員より、平成26年7月11日（金）~13日（日）に北海道大学にて開催することが決まった第1回アジア太平洋コーチング学会大会について案内と経緯説明があり、本学会が後援協力することについての提案がなされ、承認された。

5 閉会宣言 有吉正博副会長より閉会の挨拶があった。

平成25年度 日本コーチング学会・日本体育学会体育方法専門領域 第3回理事会議事録

日 時：平成25年12月7日(土) 14:00~15:30

場 所：日本大学文理学部体育学科 会議室

出席者：朝岡正雄（会長）、葛西順一（副会長）、青山清英（理事長）、青木和浩、遠藤俊郎、高岡 治、野口智博、村木征人、渡部和彦、山田永子、近藤克之（編集・幹事）、（11名）
委任状提出者 22名

1 開会宣言

朝岡正雄会長より、組織統合から動き出したばかりで、様々な問題を解決していかなければならないため、一層の協力をお願いしたいとの挨拶があった。

2 議事録署名人として、遠藤俊郎理事と高岡治理事が選出された。

3 報告事項

- 1) 凶子浩二編集委員長より、コーチング学研究第27巻2号の編集進捗状況について、現在旧編集委員会担当分7編が査読され、残り1編が通ると7編が掲載可となる。新編集委員による審査中の論文も11編で、3~4編が査読終了すれば概ね10編程度の論文が掲載される見込みであるとの報告があった。なお、27巻1号より新しい投稿規定を掲載していることも併せて報告された。
- 2) 凶子浩二学会大会事務局より、第25回学会大会（筑波大学）の準備進捗状況が報告された。申し込み締め切りは1月31日とのことであった。
- 3) 青木和浩編集副委員長（旧体育方法専門領域会報編集担当）より、今後の専門領域会報の取り扱いについて、現編集委員会で審議した結果、以下の通りとしたいとの報告がなされた。
 - ・組織統合により「会報」の冊子そのものはなくなり、コーチング学研究内で取り扱う。
 - ・研究会報告、日本体育学会大会専門領域企画報告については、編集委員会で議論し、必要に応じ「特集」として掲載する。
 - ・優秀賞、奨励賞は、従来は短報での掲載であったが、1,000字以内の抄録として受賞者に執筆を依頼する。
 - ・研究助成を受けた方には、短報の執筆を依頼し、コーチング学研究に掲載する。
 - ・旧体育方法事務局報告は、合併により削除する。
- 4) 野口智博庶務委員長より、研究助成公募について、ホームページ上で告知したことが広告され、会員への周知および活発な申請となるよう、各理事へ協力の依頼があった。
- 5) アジア太平洋コーチング会議について、大会実行委員会メンバーの渡部和彦理事より、開催準備の進捗報告がなされ、本学会会員への周知、大会への参加について協力を依頼された。

4 審議事項

- 1) 青山清英理事長より、前回議事録について提案がなされ、原案通り承認された。
- 2) 曾田宏学会大会委員長代理として野口庶務委員長より、第64回日本体育学会体育方法専門領域学会賞・奨励賞候補について優秀賞として、口頭発表から2題、ポスター発表から2題、奨励賞として口頭発表から2題、ポスター発表から4題の発表を対象としたいとの提案があり、原案通り承認された。
- 3) 青山理事長より、第63回日本体育学会大会における、体育方法専門領域の学会賞・奨励賞表彰については、平成26年3月のコーチング学会大会において表彰を行うとの提案がなされ、承認された。加えて、学会誌掲載論文の表彰について、対象研究誌の発刊時期等に関して曖昧な点が多かったため、明確にした規定作成し、次回理事会に提案することとなった。
- 4) 野口庶務委員長より、現行の表彰規定が旧学会名称の頃から改訂されていなかったため、表彰規定の改訂について提案された。青山理事長より、前項の審議と合わせて、現在の規定が学会大会の表彰と研究論文の表彰を

区別して解釈することが困難であるため、次回理事会にて両者を明確に区別した、新たな表彰規定を作成して提案することとなった。

5) 次回理事会は、平成26年3月16日(日)11時30分より、学会大会会場の筑波大学にて行うこととなった。

5 その他

野口庶務委員長より、次回理事会および総会にて、次年度活動計画の提示があるため、各委員会内で次年度活動計画を検討していただくよう依頼があった。

6 閉会宣言 葛西順一副会長より閉会の挨拶があった。

平成25年度 日本コーチング学会・日本体育学会体育方法専門領域 第4回理事会議事録

日 時：平成26年3月16日(日) 11:00~12:15

場 所：筑波大学中央体育館 第二実習室

出席者：朝岡正雄（会長）、有吉正博（副会長）、葛西順一（副会長）、青山清英（理事長）、會田 宏、青木和浩、植田恭史、内山治樹、遠藤俊典、遠藤俊郎、尾縣 貢、佐藤 徹、高岡 治、凶子浩二、中川 昭、野口智博、野村照夫、長谷川聖修、村木征人、安井年文、山田永子、渡部和彦、近藤克之、鈴木淳也、本道慎吾（25名）
委任状提出者 8名

1 開会宣言 朝岡正雄会長より、以下の通り挨拶があった。

組織統合から徐々に活動が活性化してきているが、名称変更の検討や、年会費の変更という課題もある。年会費の変更については、来年度の体育学会における総会で方向性を示したい。

2 議事録署名人として、野村照夫理事と山田永子理事が選出された。

3 報告事項

- 1) 凶子浩二編集委員長より、コーチング学研究第27巻2号の編集進捗状況について、3月末発刊予定で、特集3編、原著論文4編、研究資料1編が掲載予定である旨が報告された。
- 2) 會田宏学会大会委員長より、第64回日本体育学会大会（岩手大学）の準備進捗状況として、体育方法専門領域企画の枠組みについて、シンポジウムは8月28日13時から15時となっていることが報告された。企画の内容については企画委員会で至急検討し、4月上旬に体育学会事務局へ企画案を提出することが併せて報告された。また、長谷川聖修理事よりワークショップはプール施設を使用したものにしたいとのことであった。
- 3) 野口庶務委員長より、研究助成公募と採択結果について、理事メーリングリストで審議した結果、5件採択し、予算オーバー分は予備費より捻出したことの経緯説明と報告があった。その際、野村照夫理事より「研究助成の5件採択は当面継続されるのか？」との質問がなされ、佐藤徹理事より「年度ごとの申し込み状況によって変動する可能性がある」と回答された。
- 4) 野口智博庶務委員長より、日本体育学会代議員選挙管理委員委嘱について、野口庶務委員が担当することと、学会賞選考委員として高岡治理事に委嘱したことが報告された。
- 5) 青山理事長より、日本体育学会政策諮問・検討委員会委員として葛西順一副会長と青山理事長に委嘱したことが報告された。

4 審議事項

- 1) 青山清英理事長より、前回議事録について提案がなされ、原案通り承認された。
- 2) 野口庶務委員長より、平成25年度活動報告と決算案について説明があり、原案通り承認された。
- 3) 野口庶務委員長より、平成26年度活動計画と予算案について説明があり、原案通り承認された。
- 4) 野口庶務委員長より、年会費変更についての検討経緯が説明された。本年度決算額のマイナス分を会員数で割るとマイナス1,800円程度となることから、年会費は現行の2,000円から4,000円程度に変更することが妥当だが、消費税の段階的増加や助成応募数の増加等を勘案すると、4~5,000円で検討することが妥当であるとの報告がなされた。村木征人理事より名誉会員の会員数としてのカウントについて指摘があり、また、有吉正博副会長から、今後の学会活動を発展的にみて会費変更を検討すべきとの意見があった。朝岡会長は、体育学会本体でも退会しながらも自動的に会費が引き落とされているケースがあることなどから、会員に対して十分な説明が必要であるとのことであった。そして、学会大会は従来通り無料で行うことなどを勘案すると、十分な予算がたてられる会費にする必要があるとの意見があった。また、野村照夫理事より学生会員制度の復活についての提案もあった。青山理事長より、次回理事会、8月の体育学会における理事会に向けて継続審議として、

意見を募りながら決定していきたいとのことであった。

- 5) 日本コーチング学会・体育方法専門領域表彰規定について、野口庶務委員長より説明があった。葛西副会長より、優秀学生論文賞の取り扱いについて質問があった。また、青木理事より、受賞者に対し学会誌への抄録の提出を明記して欲しいとの要望があり、それらのことを勘案して次回理事会まで継続審議することとなった。
- 6) 海外の日本体育学会提携組織からの、学会大会での発表申し込みの取り扱いについて審議がなされたが、本年度は申し込みを受け付けず、次年度以降については継続して審議することとなった。
- 7) 次回学会大会を平成27年3月15、16日に大阪体育大学で行いたいとの提案があり、承認された。また、大阪体育大学曾根氏より挨拶があった。
- 8) 次回理事会は、平成26年6月21日(土)に行うこととなった。

5 その他

- 1) 渡部和彦理事より、アジア・太平洋コーチング学会の案内と運営協力について依頼があった。
- 2) 會田理事より、学会大会賞選考についての説明と選考協力の依頼があった。

6 閉会宣言 有吉副会長より閉会の挨拶があった。

平成26年度 日本コーチング学会・日本体育学会体育方法専門領域 第1回理事会議事録

日 時：平成26年6月28日(土) 14:00~15:20

場 所：日本大学文理学部体育学科 会議室

出席者：朝岡正雄（会長）、青山清英（理事長）、會田 宏、伊藤雅充、内山治樹、梅林 薫、遠藤俊典、大嶽真人、尾縣 貢、高岡 治、寺山由美、中川 昭、野口智博、野村照夫、長谷川聖修、安井年文、渡部和彦、近藤克之（幹事）、本道慎吾（幹事）（19名）
委任状提出10名

1 開会宣言 朝岡正雄会長より、以下の通り挨拶があった。

全国の様々な学会組織が指導者養成を計画しているが、現行の学部のカリキュラムをスケールダウンした形で行っておらず、課題が山積しているのが実情である。本学会は、まず学会としての研究業績を挙げ、個別種目や領域での研究を蓄積した上で、一般理論としての共通部分をしっかりと作りたい。7月のアジア太平洋コーチング学会など、そのような気運を盛り上げる環境は整いつつある。今後とも学会会員には更に多くの研究成果を挙げていただきたい。

2 議事録署名人として、内山治樹理事と尾縣貢理事が選出された。

3 報告事項

1) 近藤克之編集幹事より、コーチング学研究第28巻1号の編集進捗状況について、現在5編が校正完了。11編が査読中であり、概ね10編程度の掲載を目指していることが報告された。

2) 會田宏学会大会委員長より、日本体育学会第64回大会（岩手大学）の準備進捗状況として、口頭発表は8月27日で49件の発表があり、ポスターは翌28日で76件の発表が行われることが報告された。なお、口頭発表で1件の発表取り消しがあったため、同セッションのタイムスケジュールを当該セッションの座長と協議の上、変更については庶務と学会大会事務局とで連絡を取り調整を行うことが報告された。

また、体育方法専門領域企画のシンポジウムは8月27日9時から11時30分で、佐藤徹研究委員長により企画された内容で、既に抄録等を学会大会事務局へ提出した。加えて、長谷川聖修庶務副委員長より、ワークショップを同日15時30分から17時30分の時間帯で行うことと、その企画内容および抄録について説明がなされた。

3) 梅林薫理事より、第26回学会大会の開催日の変更について、大阪体育学会の日程が重複しないようにするため、当初の予定を1週間繰り上げ、3月7日(土)、8日(日)としたことが報告された。大会テーマは「コーチング学の創造」とし、発表形式や申込締め切り等については、前回筑波大会を参考に具体案を決めるとのことであった。

4) 渡部和彦理事より、7月11日(金)から7月13日(日)にかけて、北海道大学学術交流会館にてアジア太平洋コーチング学会大会が開催され、中国、韓国、台湾、ニュージーランドなど海外から100名が参加、国内からも120名程度参加申込があったことが報告された。また、本学会朝岡正雄会長が大会顧問となっており、初日に基調講演を行うことも併せて報告された。

5) 野口智博庶務委員長より、日本体育学会代議員選挙結果について、凶子浩二理事、朝岡正雄会長、青山清英理事長、長谷川聖修庶務副委員長、山口香氏（筑波大）を、得票数上位5名として体育学会事務局への報告を経て、体育学会事務局からの諾否確認が行われることが報告された。

4 審議事項

1) 青山清英理事長より、前回議事録について提案がなされ、原案通り承認された。

2) 野口庶務委員長より、前回理事会からの継続審議となっていた表彰規定について、修正点の説明がなされた。今後、更に修正を加えたものを理事メンバーリストで確認し、次回理事会で成案することとなった。

- 3) 青山理事長より、前回理事会より継続審議となっていた年会費変更についての検討経緯から、昨今の経済事情や今後の学会活動の活性化も勘案し現行の2,000円から5,000円に変更したいとの提案があった。学生会員の復活についても検討されたが、事務手続き上、学生か否かを区別するなどの作業量が増加し、体育学会事務局の負担増が懸念されるため、最終的に一律5,000円の変更することとして、8月の体育学会時の総会で諮ることとなった。
- 4) 長谷川庶務副委員長より、日本体育学会ホームページに掲載する「体育・スポーツ科学情報コラム」執筆について、朝岡会長に依頼することが提案され、承認された。
- 5) 尾縣理事より、指導者育成のプロジェクトにコーチング学会理事のメンバーが少ないことが指摘された。渡部理事より、今後は学会の認知度を更に高めなければならず、7月のアジア太平洋コーチング学会大会ではマスコミを呼んで「サッポロ・アピール」をする予定がある旨、報告された。

5 閉会宣言 朝岡会長より以下の通り閉会の挨拶があった。

年度末のコーチング学会大会での総会では、現行の「日本コーチング学会・日本体育学会体育方法専門領域」の後者の方を削除し、会則に「日本体育学会体育方法専門領域を兼ねる」という一文を加えた形で、会則改訂ならびに名称変更の手続きをしたい。

論文審査委員

奈良 隆章 (筑波大学)	土田 了輔 (上越教育大学)
関子 浩二 (筑波大学)	青山 亜紀 (日本女子体育大学)
遠藤 俊典 (青山学院大学)	眞鍋 芳明 (国際武道大学)
千野謙太郎 (国立スポーツ科学センター)	岡田 英孝 (電気通信大学)
湯田 淳 (日本女子体育大学)	鈴木 淳 (福岡教育大学)
菊山 靖 (筑波大学スポーツR&Dコア)	會田 宏 (筑波大学)
森丘 保典 (日本体育協会)	結城 匡啓 (信州大学)
青山 清英 (日本大学)	青木 和浩 (順天堂大学)
高橋 宏文 (東京学芸大学)	秋山 央 (筑波大学)
射手矢 岬 (東京学芸大学)	藪根 敏和 (京都教育大学)
野村 照夫 (京都工芸繊維大学)	早坂 一成 (名古屋学院大学)
千葉 剛 (筑波大学)	坂井 和明 (武庫川女子大学)
窪 康之 (国立スポーツ科学センター)	市川 浩 (新潟医療福祉大学)
高橋 仁大 (鹿屋体育大学)	曾根 純也 (大阪体育大学)
島田 一志 (金沢星稷大学)	

2014年度日本コーチング学会賛助会員一覧

- 大修館書店
<http://www.taishukan.co.jp/>
- 株式会社サス・スポーツプロダクト
<http://www.sas-sports.co.jp/>
- ILS株式会社
<http://www.ils.co.jp/>
- 株式会社ディケイエイチ
<http://www.dkh.co.jp/>
- 株式会社文成印刷
<http://www.bunsei.com>
- NPO 法人日本Gボール協会
<http://www.g-ball.jp/>
- あどあど
<http://www.adad.be/>
- 株式会社フォーアシスト
<http://www.4assist.co.jp/>
- 株式会社ベルテック・ジャパン
<http://www.bertec.co.jp>
- 株式会社ダートフィッシュ・ジャパン
<http://www.dartfish.co.jp/>